

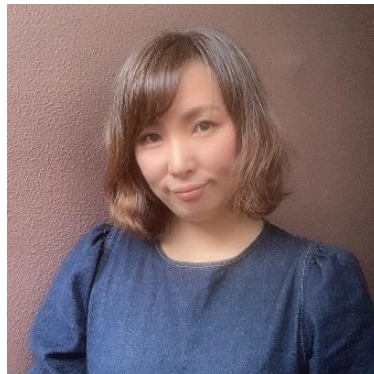
Geospatial.jp G空間情報センター

ニュースレター 第29号 2022年1月発行

【目次】

- [1. TOPICS 「国土交通データプラットフォームのデータ連携を拡充」](#)
- [2. 上位アクセス状況\(集計期間：2021.11.1-12.31\)](#)
- [3. 最新のお知らせ](#)
- [4. 「公共交通移動データをまちづくりに～DX社会の実現に向けて～」](#)
- [5. 注目のコンテンツ紹介](#)
- [6. お願い◆年度末に向けたデータご購入検討の皆様へ](#)

1. TOPICS 「国土交通データプラットフォームのデータ連携を拡充」



(一社) 社会基盤情報流通推進協議会 榎本 真美

国土交通省が推進する「国土交通データプラットフォーム」をご存知でしょうか？

これは、国や自治体の施設の維持管理情報や国土地番情報をワンストップで検索・ダウンロード出来るものです。

AIGID ではこのプラットフォームの技術支援を行っており、今回はその最新情報について皆様にご紹介させていただきます。

国土交通データプラットフォームにおいて、従来は2D地形図のみでしたが、更に3D地形図での表示を可能にするとともに、3D都市モデル(PLATEAU)や国土地盤情報などとのデータ連携を拡充しました。

また、データ利活用を推進するための要素技術に関する研究開発について、ショーケースで紹介しています。

1. 国土交通データプラットフォームの概要

国土交通省では、デジタルツインの実現を目指し、3次元データ視覚化機能、データハブ機能、情報発信機能を有するプラットフォームの構築を進めています。

URL：<https://www.mlit-data.jp/platform/index.html>



2. データ拡充

① 3D地形

従来の2D地形図に加え、3D地形図（国土地理院標高タイルによる3D表示機能）の表示が可能となりました。3D地形図に3D都市モデルを重畳させて表示することが可能となっています。

② 3D都市モデル

国土交通省が主導する、日本全国の3D都市モデル整備・活用・オープンデータ化事業 Project PLATEAU（プラトー）によって整備された56都市の3D都市モデルを追加し、拡充しました。

ショーケース：<https://www.mlit-data.jp/platform/showcase/case-8.html>

③ 全国道路・街路交通情勢調査

平成27年度全国道路・街路交通情勢調査 一般交通量調査結果を新たにデータ追加しました。

④ 東京都 ICT 活用工事データ

東京都が行ったICT活用工事での点群データ13件を新たにデータ追加しました。

⑤ 国土地盤情報

国土地盤情報（全国のボーリング結果等の地盤データ）の連携はこれまでの約14万件から、約25万件に拡充しました

3. 要素技術の研究開発の紹介

国土交通省国土技術政策総合研究所が委託研究を行い、インフラデータの利活用を促進するための要素技術開発を行っています。ショーケースでは、これらの技術開発について紹介を行っています。今後、国土交通データプラットフォームと連携することを目指して、研究開発が進められています。

① 2次元CAD図面から3次元モデルを自動で作成する技術に関する研究開発

今後活用が進められる3次元モデルを、短時間で作成できるようにするために、電子成果品に含まれる構造物の2次元CAD図面から3次元モデルを自動で作成する技術に関する研究開発が進められています。

ショーケース：<https://www.mlit-data.jp/platform/showcase/case-6.html>

② 電子成果品のメタデータを自動で作成する技術に関する研究開発

国土交通データプラットフォームと連携した電子成果品に含まれる多くのファイルから必要な情報を効率的に検索できるようにするために、ファイルの内容や格納場所をまとめたデータ（メタデータ）を自動で作成する技術に関する研究開発を進めています。

ショーケース：<https://www.mlit-data.jp/platform/showcase/case-7.html>

これからも随時データや機能の拡充を進めてまいりますので、ぜひ国土交通データプラットフォームをご活用ください。

2. 上位アクセス状況(集計期間：2021.11.1-12.31)

登録ユーザー数	10,241名
期間アクセス数	375,727
登録組織数	579件
データセット数	7,654件
ファイル数	56,852件

人気のデータセット

1	3D都市モデル (Project PLATEAU) 東京都23区
2	3D都市モデル (Project PLATEAU) ポータルサイト
3	全国の人流オープンデータ (1kmメッシュ、市町村単位発地別)
4	3D都市モデル (Project PLATEAU) 東京都23区 (FBX 2020年度)
5	静岡県 富士山南東部・伊豆東部 点群データ
6	3D都市モデル (Project PLATEAU) 札幌市 (2020年度)
7	3D都市モデル (Project PLATEAU) 大阪市 (2020年度)
8	道路キロポスト
9	兵庫県_全域数値地形図_ポータル (2010年度~2018年度)
10	3D都市モデル (Project PLATEAU) 東京都23区 (CityGML 2020年度)

3. 最新のお知らせ

G空間情報センターの最新のお知らせは[こちら](#)

最新のデータ公開情報は[こちら](#)

最新のイベントをいち早くキャッチしたい場合は、ぜひ Peatix でフォローをお願いします☆

G空間情報センターイベント最新情報は[こちら](#)からフォロー(Peatix)

4. 「公共交通移動データをまちづくりに～DX 社会の実現に向けて～」



株式会社 建設技術研究所
東京本社 道路・交通部
五十嵐達哉

株式会社 建設技術研究所では、「誰もが自由に移動できる社会」の実現に向け、最新の ICT 技術と最適化アルゴリズムを用いた「オンデマンド・乗合い方式」のモビリティサービスである『シティ Mobi』を自治体や運行事業者向けに提供しています。

シティ Mobi は、現在国内の地方部などで多く運行されているデマンド交通の利便性向上・効率化をサポートするものです。複雑な配車計算を自動で実施できるようになるだけでなく、スマホやパソコンなどの通信手段で予約が可能になること、リアルタイム予約が実現できること、到着 5 分前のお知らせ通知機能で待ち時間の負担が軽減するなどの多くのメリットがあります。

加えて、デマンド交通にシティ Mobi のような運行管理システムを導入することにより、日々運用を重ねていくだけで、デマンド交通の利用状況、利用者の移動履歴、乗降場所ごとの利用情報、車両の走行状況などのデジタルデータを自動的に取得・蓄積可能です。

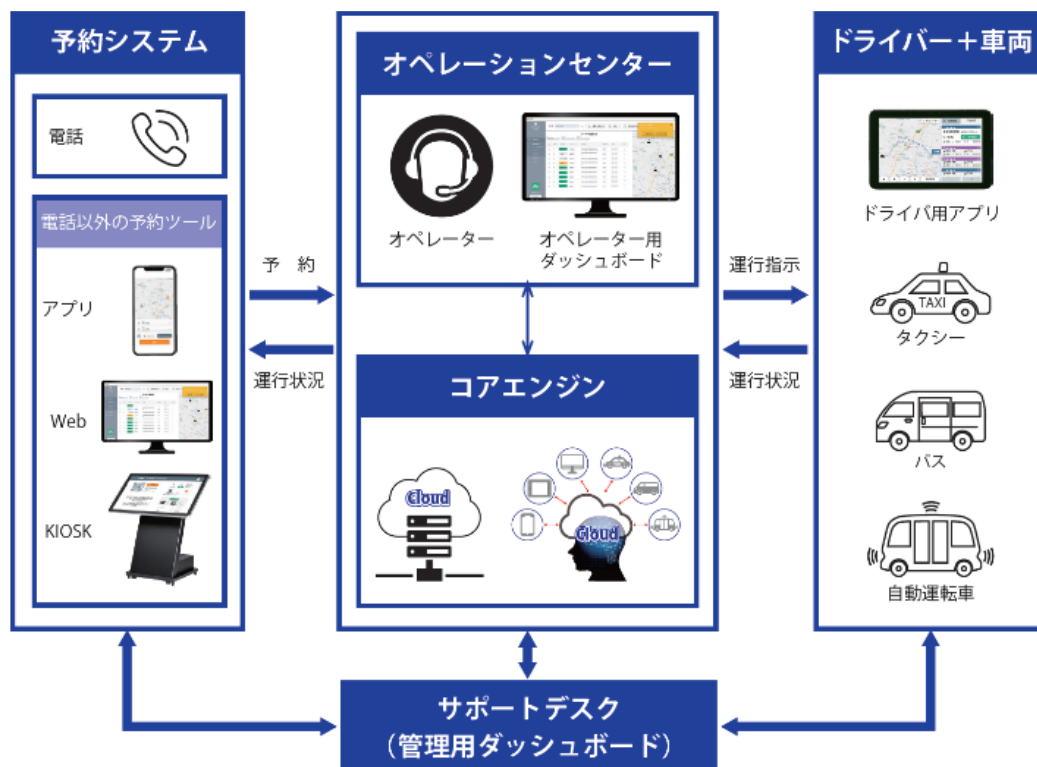


図 シティ Mobi のシステムイメージ

これらのデータは、公共交通分野だけでなく、まちづくりへの活用が可能です。利用者の移動履歴からは、移動頻度や買い物先・通院先などの移動ニーズを把握できます。現在のデマンド交通の利用者は高齢者が多いため、これらの移動データは福祉分野などでの活用が大いに期待できます。また、乗降場所ごとの利用データからは、時間帯別の需要の多い場所などが把握でき、交流拠点などの検討に役立ちます。車両の走行状況データは各経路の走行時間が時間帯ごとに蓄積され、将来的には地域内の混雑予測などに活用可能です。

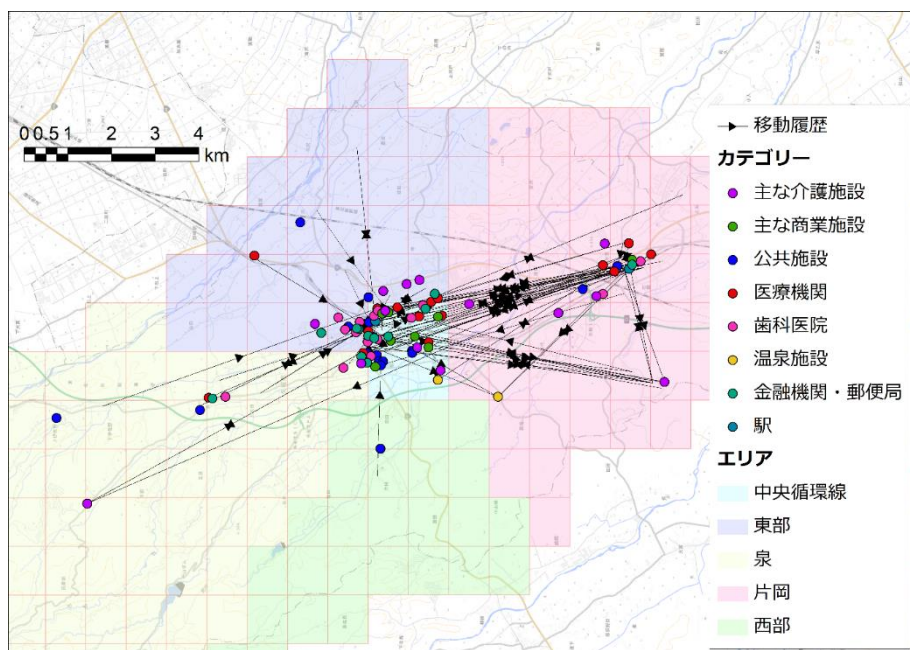


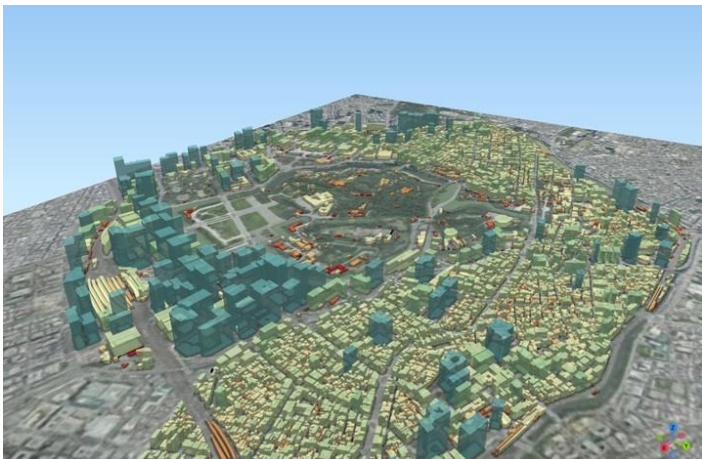
図 移動履歴の可視化イメージ

シティ Mobi は、デマンド交通の利便性・効率性の向上はもとより、このようなデジタルデータの取得・活用・フィードバックを可能とする仕組みであり、到来する DX 社会の基幹ツールとして、住みよいまちづくりの実現に寄与して参ります。

シティ Mobi の詳細は、以下の HP をご参照ください。⇒ <https://www.cti-mobility.jp/>

5. 注目のコンテンツ紹介

3D 都市モデル(Project PLATEAU)



前回 QGIS で CityGML を読み込みましたが、可視化手順が煩雑でしたので、ファイルジオデータベース (FGDB 形式のデータ) を試してみました。

東京 23 区で 135GB、建物 177 万棟です。図は千代田区の建物です。建物属性は高さのみですが、色々な分析に使えそうです。

対象データセットは [こちら](#)

6. お願い◆年度末に向けたデータご購入検討の皆様へ

お陰様をもちまして、年末よりご購入に関するお申込み・お問合せが増えております。つきましては、下記の点ご留意のうえお早めのご連絡をよろしく申し上げます。

◆納期が通常より遅延する場合があります

お支払い完了確認後に納品となります。

通常、入金確認後 5 営業日以内に納品対応とさせていただいておりますが、データの種類・対象範囲によって納品までのお時間が通常と異なる場合があります。

◆ご購入 (お支払い完了) は 3 月 10 日頃迄を目安に

年度内の納品ご希望の方は、遅くとも 3 月 10 日頃迄を目安にご入金完了をお願いします。

その他のご購入に関するご案内事項は [こちら](#)

ご意見・ご要望について

G 空間情報センターは、高度な地理空間情報社会の実現と皆さまの事業の発展に寄与・貢献できることを目標としています。

当センターへのご要望、ご意見、ご助言等ございましたら、遠慮なくご連絡ください。
最後までお読みいただき、ありがとうございました。

G 空間情報センターのユーザーアカウント登録は、[こちら](#)

G 空間情報センターのご要望、ご意見は、[こちら](#)

一般社団法人 社会基盤情報流通推進協議会(AIGID)

〒151-0053 東京都渋谷区代々木 1-10-5 代々木伊藤ローヤルコーポ 304 号室

メール : info@geospatial.jp

TEL : 03-6455-1845

※当ニュースレターの内容、テキスト、画像等の無断転載・無断使用を固く禁じます。